



# サンバー限定モデル計画、始動。①

## 長い歴史を誇る実車とミニカー・ブランドのコラボレーションとは？



上はダイヤベットのサンバーの、塗装前のプロトタイプ。これをベースに限定モデルが作られる予定だ。

実車の情報にも詳しい本誌読者諸君であれば釈迦に説法かと思いますが、日本の自動車史上に燦然と輝く名車・スバル360の主要な機械部分を共用して生まれたのが、スバルの軽商用車、サンバーであります。スバル360のデビューに遅れる事3年後の1961年にデビューしたサンバーは、今年でちよ

うど生誕50周年。

そんな長い歴史を持つサンバーは、日本を代表する軽商用車として、昔から数多くのミニカーやプラモデルにもなってきましたが、その中でも一番新しいモデルが、今年のダイヤベットのトラックコレクション・シリーズに加わった現行のサンバー・トラックです。

スケールは1/36で、現在はノーマルの幌付きトラックの他に、パン屋さん仕様とラーメン屋さん仕様、全3種類のバリエーションが存在します。

さて、4気筒のリアエンジン、四輪独立懸架、最小回転半径の小さなショートホイールベースといった、数々の優れた特徴を持つ現行サンバーのバン／トラックですが、残念ながら近く生産中止となる事が決定しています。

初代誕生から50周年という節目の年に生産中止が決定されるとは、いちクルマ好きにとってはなんとも複雑な心境であります。これもまた国産自動車の歴史の一コマ。サンバー・ファンとしては、せめてダイヤベットの現行サンバーのミニカーを手に入れて、サンバーの長い歴史に敬意を表することとしましょう……。

などと、しみじみしていた矢先の締切間際に編集部へ届いたダイヤベットからのリリースがこれ。そのニュース

によると「ラスト・サンバー」の限定記念ミニカーが作られることが決定したというのです。

ダイヤベットのサンバーに新たに加わるのは、生誕50周年を記念して限定発売された実車を再現したモデル。WRブルーと呼ばれる鮮やかなボディ・カラーが特徴です。もちろんスバリストならずとも、その色の持つ意味はよくご存知でしょう。サンバー同様長い歴史を持つダイヤベットが、久々に実車メーカーとコラボレーションを行い、リリースするという限定ミニカー。次号の本誌では、その詳細をお伝え出来る予定なのでお楽しみに。



左はトラックとバン、合わせて1,000台が限定販売され、すぐに完売したサンバーの限定車、WRブルーリミテッドの実車カタログ。ダイヤベットのサンバーは、この実車を再現するという。